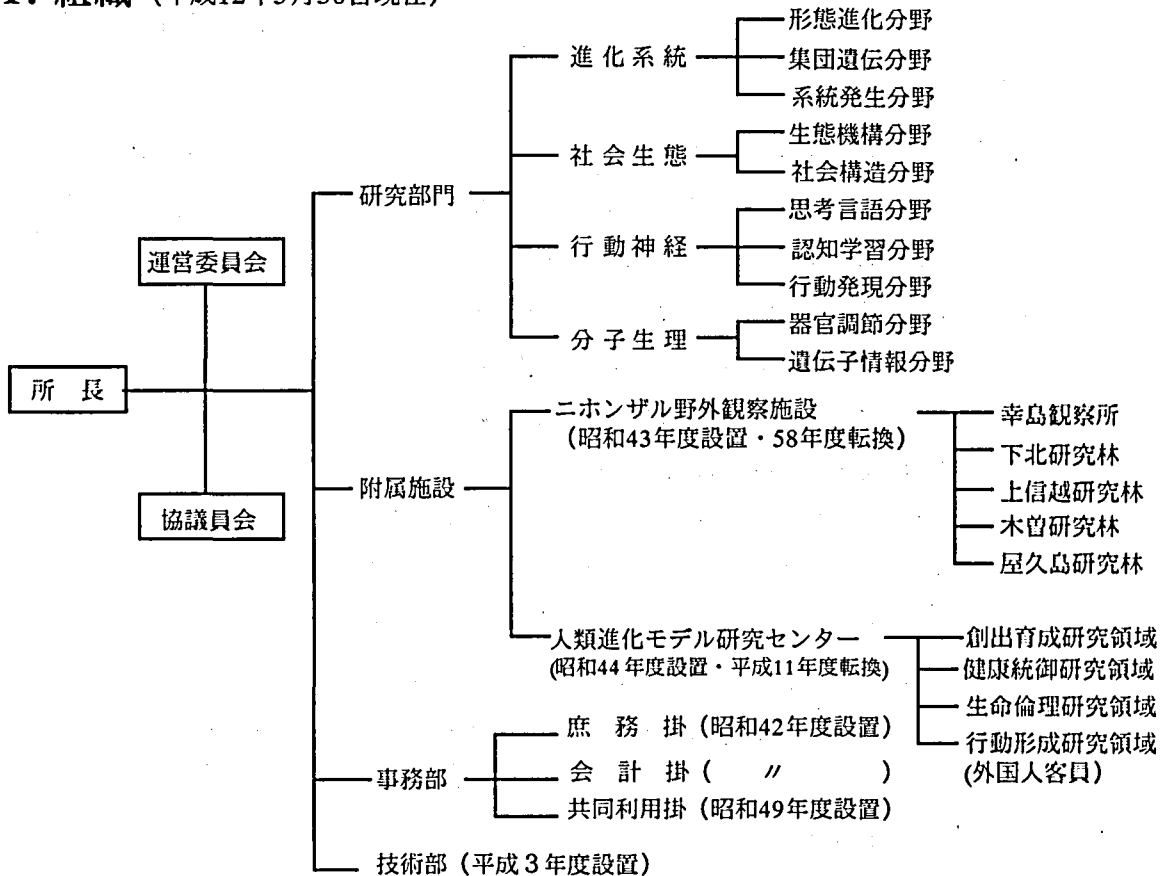


II 研究所の概要

1. 組織 (平成12年3月30日現在)



所 長	小 嶋 祥 三	
運 営 委 員	木 村 賛	(東京大学大学院理学系研究科 教授)
(順不同)	杉 山 幸 丸	(東海学園大学人文学部 教授)
	高 畑 由紀夫	(関西学院大学総合政策部 教授)
	和 秀 雄	(大阪大学人間科学部 教授)
	丸 橋 珠 樹	(武蔵大学人文学部 教授)
	石 田 英 實	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	西 田 利 貞	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	茂 原 信 生	(霊長類研究所 教授)
	竹 中 修	(霊長類研究所 教授)
	松 沢 哲 郎	(霊長類研究所 教授)
事 務 長	竹 内 克 己	

教 授	助教授	助 手	事務官	技 官	小 計	非常勤(日々)	非常勤(時間)	合 計
12	11	16	9	14	62	2	49	113

博士課程	修士課程	研 修 員	特別研究員	研 究 生	特別研究学生	合 計
22	14	2	7	4	1	50

所 内 連 絡 先 一 覧

形態進加分野 Fax: 0568-61-5775

片山 一道	63-0520	katayama@pri.kyoto-u.ac.jp
濱田 稯	63-0521	hamada@pri.kyoto-u.ac.jp
毛利 俊雄	63-0522	mouri@pri.kyoto-u.ac.jp
國松 豊	63-0523	kunimats@pri.kyoto-u.ac.jp
早川 清治	63-0524	hayakawa@pri.kyoto-u.ac.jp
水谷 典子	63-0592	nmizutan@pri.kyoto-u.ac.jp

集団遺伝分野 Tel/Fax: 0568-62-9554

庄武 孝義	63-0526	shotake@pri.kyoto-u.ac.jp
川本 芳	63-0527	kawamoto@pri.kyoto-u.ac.jp
浄土 啓子	63-0529	jodo@pri.kyoto-u.ac.jp

系統発生分野 Tel/Fax: 0569-63-0536

茂原 信生	63-0531	shigehar@pri.kyoto-u.ac.jp
相見 満	63-0532	aimi@pri.kyoto-u.ac.jp
高井 正成	63-0533	takai@pri.kyoto-u.ac.jp
本郷 一美	63-0534	hitomi@pri.kyoto-u.ac.jp
木下 實	63-0535	kinoshit@pri.kyoto-u.ac.jp

生態機構分野 Fax: 0569-63-0565

上原 重男	63-0537	uehara@pri.kyoto-u.ac.jp
森 明雄	63-0538	mori@pri.kyoto-u.ac.jp
松村 秀一	63-0540	matsumur@pri.kyoto-u.ac.jp
永田 礼子	63-0541	nagata@pri.kyoto-u.ac.jp

社会構造分野 Fax: 0568-63-0564

加納 隆至	63-0542	kano@pri.kyoto-u.ac.jp
大澤 秀行	63-0543	ohsawa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 晃	63-0544	asuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
杉浦 秀樹	63-0539	sugiura@pri.kyoto-u.ac.jp
真方 栄子	63-0545	makata@pri.kyoto-u.ac.jp

思考言語分野 Fax: 0568-62-2428

松沢 哲郎	63-0547	matsuzaw@pri.kyoto-u.ac.jp
友永 雅己	63-0549	tomonaga@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 正之	63-0548	mtanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	63-0555	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

認知学習分野 Fax: 0568-62-9552

小嶋 祥三	63-0551	kojima@pri.kyoto-u.ac.jp
正高 信男	63-0552	masataka@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 克樹	63-0553	knakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
南雲 純治	63-0554	nagumo@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	63-0555	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

行動発現分野 Fax: 0568-63-0563

三上 章允	63-0558	mikami@pri.kyoto-u.ac.jp
脇田 真澄	63-0560	mwakita@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 隆子	63-0557	tmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 冬華	63-0557	ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp

器官調節分野 Tel/Fax: 0568-63-0576

林 基治	63-0570	hayashi@pri.kyoto-u.ac.jp
目片 文夫	63-0571	mekata@pri.kyoto-u.ac.jp
大蔵 聡	63-0573	ohkura@pri.kyoto-u.ac.jp
清水 慶子	63-0575	shimizu@pri.kyoto-u.ac.jp
松村 尚美	63-0576	hmatsumu@pri.kyoto-u.ac.jp

遺伝子情報分野

竹中 修	63-0577	takenaka@pri.kyoto-u.ac.jp
平井啓久(兼)	63-0528	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 伸	63-0579	snakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
浅岡 一雄	63-0580	asaoka@pri.kyoto-u.ac.jp
宮田 正代	63-0577	miyata@pri.kyoto-u.ac.jp

ニホンザル野外観察施設

渡邊 邦夫	63-0582	watanabe@pri.kyoto-u.ac.jp
室山 泰之	63-0581	muroyama@pri.kyoto-u.ac.jp
足澤 貞成	内線401	ashizawa@pri.kyoto-u.ac.jp
藤岡 明美	63-0583	fujioka@pri.kyoto-u.ac.jp
幸島観察所	Tel: 0987-77-0045/Fax: 0987-77-0251	
屋久島研究林	Tel/Fax: 09974-5-2074	

人類進化モデル研究センター Fax: 0568-62-9559

松林 清明	63-0584	kmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
景山 節	63-0578	kageyama@pri.kyoto-u.ac.jp
M.A.Huffman	63-0354	huffman@pri.kyoto-u.ac.jp
平井 啓久	63-0528	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
上野 吉一	63-0561	okuma@pri.kyoto-u.ac.jp
後藤 俊二	63-0585	goto@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 樹理	63-0586	suzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
松林 伸子	63-0588	nmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 宣勝	63-0590	nmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
熊崎 清則	63-0588	kumazaki@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 政光	63-0588	kamanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
釜中 慶朗	63-0588	maeda@pri.kyoto-u.ac.jp
前田 典彦	63-0588	katsuta@pri.kyoto-u.ac.jp
橋本 ちひろ	63-0588	akkato@pri.kyoto-u.ac.jp
加藤 朗野	63-0588	umeda@pri.kyoto-u.ac.jp
梅田 恵子	63-0587	mariko@pri.kyoto-u.ac.jp
前田真理子	63-0587	mariko@pri.kyoto-u.ac.jp

事務局 Fax: 0568-63-0085

事務 長	63-0511	jimuchou@pri.kyoto-u.ac.jp
庶務 掛	63-0512	shomu@pri.kyoto-u.ac.jp
共同利用掛	63-0513	kyodo@pri.kyoto-u.ac.jp
会計 掛	63-0514	kaikai@pri.kyoto-u.ac.jp
図書 室	63-0516	tosho@pri.kyoto-u.ac.jp

2. 予算概況

平成11年度経費

(単位：千円)

人件費	533,160
物件費	
校費	195,828
受託研究費	22,607
受託研究員費	487
施設整備費	896
計	752,978
科学研究費補助金(42件)	320,800
合計	1,073,778

研究費取得状況

(単位：千円)

教育研究学内特別経費	3,000
外国人研究員経費	1,172
国際シンポジウム経費	581
計	4,753
科学研究費補助金(42件)	320,800
奨学寄附金(9件)	11,100
合計	336,653

平成11年度 文部省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	補助金額 (千円)	研究課題
COE形成基礎	竹中 修	185,000	類人猿の進化と人類の成立
特別推進(2)	松沢 哲郎	20,000	チンパンジーの言語・認知機能の獲得と世代間伝播
地域連携	片山 一道	14,600	考古遺跡で出土した古人骨および動物遺物の総合台帳を整備作成する研究
推進(1)			
特定(A)(1)	小嶋 祥三	29,500	心の発達：認知発達障害
“(A)(2)	中村 克樹	1,300	サル視覚認知地図と側頭葉前腹側部及びTE野神経細胞の応答
“	三上 章允	2,000	サル連合野ニューロン相互の情報統合と時間特性の研究
“	櫻井 芳雄	500	時間情報の記憶と処理に関わる動的神経回路
“(文学部へ異動)			
基盤(A)(2)	加納 隆至	8,400	ボノボ(<i>Pan paniscus</i>)の分布と生態的特性
“	茂原 信生	5,300	東アジアのヒト上科の起源と進化
“	大澤 秀行	5,100	アフリカ熱帯林の霊長類とその草原への進出：比較研究
“	三上 章允	4,500	ジャワ島における色盲サルの研究
“	庄武 孝義	3,100	ヤクニホンザルの実験動物化
基盤(B)(1)	茂原 信生	6,500	後氷期におけるニホンザルの成立過程の総合的研究
基盤(B)(2)	片山 一道	7,400	古代日本の争乱と武器に関する骨学的および考古学的研究
基盤(C)(1)	濱田 稔	1,500	ニホンザルに見られる季節性機序の解明
基盤(C)(2)	渡邊 邦夫	600	最大許容量に達した野生ニホンザルの生態的特徴と個体群調節のメカニズム
“	加納 隆至	1,000	ランドサット画像を利用したボノボとチンプの生息植生の比較分析
“	森 明雄	1,000	ニホンザルのポピュレーション抑制期に現れる性成熟の遅延の生態学的研究
“	大澤 秀行	700	ニホンザルの繁殖戦略：とくに配偶選択の要因について
“	櫻井 芳雄	800	刺激と時間の各記憶に関わる動的神経回路の解析
“(文学部へ異動)			

研究種別	研究代表者	補助金額 (千円)	研 究 課 題
萌芽的研究	平井 啓久	400	染色体顕微切断によるカニクイザルとコモンマーモセットのゲノム解析へのアプローチ
奨励 (A)	田中 正之	1,000	チンパンジーによるチンパンジーおよびヒトとの社会的関係の認知に関する研究
//	脇田 真清	500	弁別学習の脳皮質受容野特性に及ぼす影響
//	松村 秀一	900	社会集団における個体の空間分布に関する進化生態学的研究
//	高井 正成	500	野生オナガザル類の歯牙と頭骨の形態の種内変異に関する進化学的研究
//	大蔵 聡	800	慢性および急性ストレスによる黄体形成ホルモン分泌抑制の脳内メカニズムの解明
//	友永 雅己	1,700	霊長類新生児における運動・認知・社会的発達とその相互作用
特別研究員 奨励費	中村 徳子	1,200	チンパンジー乳幼児とヒト乳幼児における認知機能の発達の比較
//	小林 洋美	1,200	ヒトの目の特異性とその適応的意義—形態・機能の種間比較からの検討—
//	泉 明宏	900	霊長類における音楽の知覚の実験的研究
	水谷 俊明	900	テナガザルの発生行動および音声認知の発達
//	伊藤 浩介	900	霊長類の性格の生物学的研究
//	保坂 和彦	1,200	野生チンパンジーの社会的道具に関する研究
//	早川 祥子	900	野生ニホンザルのDNA父子判定による繁殖成功度の研究
	平田 聡	900	チンパンジーにおける他個体のもつ知識の理解
//	岡 輝樹	1,200	熱帯林の分断化がテナガザルの社会に及ぼす影響に関する行動生態学的及び遺伝学的研究
//	山越(明和) 政子	1,500	ヒトおよびチンパンジーにおける模倣の発達とその生物学的基盤
//	岡本 暁子	1,500	意志決定に影響を及ぼす社会的ルールと比較研究
//	藤田 志歩	900	ヒト以外の霊長類におけるホルモンと行動：生殖関連ホルモンが性行動に及ぼす影響
//	土田 順子	900	霊長類における加齢に伴う認知能力の変化と脳の構造的・機能的変化に関する研究
//	中井 將嗣	900	古代人および霊長類の古病理学的研究
	茶谷 薫	1,200	類人猿とオナガザルのロコモーション発達
合 計	42件	320,800	

平成11年度 研究補助金等 内訳一覧（文部省科学研究費補助金以外）

補助金等種別	研究代表者	補助金額 (千円)	研 究 課 題
ビーエフ研究所 奨学寄附金	林 基治	2,000	霊長類の脳老化-機能的画像法と分子解剖学的研究
ダイナボット(株) 研究助成金	景山 節	2,000	霊長類に関する総合的研究-ペプシノーゲンの臨床応用に関する研究
極東製薬工業(株) 研究助成金	景山 節	1,500	霊長類に関する総合的研究
(財)大山健康財団 学術研究助成金	平井啓久	1,000	住血吸虫類のゲノム染色体地図作製と染色体進化に関する研究
(財)日本生命財団 研究助成	杉山幸丸	800	タイワンサル侵入の現状把握およびニホンサルとの混血のリスク評価と対策
厚生省科研費 ヒトゲノム・遺伝子 治療研究事業	中村 伸	40,000	サルモデルにおけるベクターの安全性・有効性の評価実験系の開発
厚生省科研費・創薬 ヒューマンサイエンス 総合研究事業	中村 伸	800	サルの血栓症発症機序に関する病態生化学的研究
明治乳業(株) 研究助成金	中村 伸	1,000	霊長類のアレルギー反応の制御機構
武田薬品工業(株) 研究助成金	中村 伸	500	霊長類の生体制御機構
(財)日本生命財団 研究助成	清水慶子	1,000	環境ホルモンが霊長類の生殖内分泌系に及ぼす影響
(財)内藤記念科学振興 財団奨学金	中村克樹	1,300	頭頂葉における眼球位置と視覚の情報統合
合 計	11 件	51,900	

3. 図書

2000年3月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下のとおりである。

(1) 蔵書冊数（製本雑誌を含む）

和 書： 5,895 冊

洋 書： 13,150 冊

合 計： 19,045 冊

(2) 別刷点数

別 刷：65,980 点

(3) 和文雑誌・新聞および中国文雑誌リスト

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
アフリカ研究（アフリカ研究会）	1(1-2)	1963-64
アフリカ研究（日本アフリカ学会）	1-30	1964-87
母性衛生	26(1-2, 4), 27-29	1985-88
Clinical Neuroscience	1(3), 2(3-4, 6-12), 3	1983-85
治療学	7(5-6), 8(3, 6), 9(1, 3, 6), 11(1, 6), 15(5)	1981-85
動物学雑誌	69-71, 79(11-12), 81-92	1960-83
動物生理	1-4, 5(1-3), 6(1)	1984-89
ドクメンテーション研究	23-29, 30(1-3)	1973-80
第四紀研究	1(2-4, 6-7), 2-3, 4(2-4), 5-7, 9(2), 10-11, 12(1, 4), 13(3), 14, 15(2), 16(3), 17(2), 18(2, 4), 19, 20(1-2), 21(1, 3-4), 22(1-2, 4), 23-28, 29(2)	1958-90
ファルマシア	22-26	1986-90
学術月報	21(10, 12), 22-52+	1969-99
学術の動向	1-4+	1996-99
現代性教育研究	24(10), 36(10), 37(12)	1977-79
言語	5, 6(1-6, 8-13), 7-18, 19(1-6, 8-12), 20-28+	1976-99
ホルモンと臨床	19-32, 33(1-3, 5-12), 34(1-6), 35-37, 38-40, 41(1-2, 4-12), 42(1-5, 7-12), 43(1-2, 5-12), 44-47+	1971-99
遺傳	30(6-11, 13), 31-53+	1976-99
週刊醫學のあゆみ	71(9), 75(5-13), 76-80, 81(1), 98(9), 127(5)	1969-83
醫學と生物學	82, 83(1-4, 6), 84-99, 100(1-4)	1971-80
IMAGO	4(7, 13), 5(1), 3(5, 10-11)	1992-94
Isotope News	358-550+	1984-2000
Japanese Journal of Sports Sciences	1-4, 5(1-7)	1982-86
人類学研究	1-2, 3(1-2), 6, 7(3-4)	1954-60
人類學輯報	1-6, 8-12, 14, 16, 18-19, 21-25, 28-36	1948-67
人類學雜誌	56(3, 10-11), 57(3, 6-7, 10-11), 58(1, 3, 5, 7-8, 10), 59(2, 7, 9-12), 60(1, 3), 61(4), 62(1-3), 63(3, 5-6), 64(3), 65(1-4), 66(1, 3-5), 67-71, 72(1-3), 73-74, 75(2-5), 76 (2, 4-5), 77-83, 84(1-3), 85(2-4), 86-99	1941-91
人類科学	5-8, 11, 14, 18-19, 21, 27, 29-40	1952-87
季刊人類学	1(4), 12(1), 15(4), 16(1, 3-4)	1970-85
自主講座	1-6, 8-23, 25-34, 36-66, 71-75, 77-80, 82	1971-78
情報処理	17(12), 18(1-4, 6-12), 19-21, 22(1-2, 4-7)	1976-81

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
条件反射	1-12	1939-44
条件反射	13	1948-48
条件反射	14-113	1961-73
助産婦雑誌	39(3-12), 40(2-12), 43(2-3)	1985-89
助成研究	1-8+	1998-2000
助成財団	1, 3-28, 30, 33-35, 37-40	1987-95
科学	38(4-12), 39-69+	1968-99
科学朝日	28(2, 4-6, 8-11), 29-37, 38(1-8, 10-12), 39-55, 56(1-3)	1968-96
解剖学雑誌	24(2-4), 25-27, 28(3-6), 29, 30(1-5), 31-71	1949-96
感覚統合障害研究	1(1), 3-4, 5(1)	1988-94
からだの科学	158	1991-91
からだの科学 増刊	5-6, 21	1987-89
血管と内皮	7(2-6), 8-9+	1997-99
健康な子ども	17(1), 18(4, 6-9)	1988-89
基礎心理学研究	1-2, 3(1), 4, 5(2)	1982-86
公害研究	1(1-3)	1971-72
こころの科学	30-32, 35, 39, 41-45, 47-48, 51-53, 55-58, 60	1990-95
MASIS news	4(5-6, 8-11), 5(2-12), 6, 7(1-3, 5-12), 8-12, 13(1-2, 4), 14(3, 6-12), 15(1-5, 8-12), 16(2-5)	1983-95
ミクロスコピア	2(4), 5(2-4), 6-7, 8(1-2, 4), 9, 10(1-2)	1985-93
民族学研究 (日本民族学協会)	12(1-2, 4), 13(4)	1947-48
民族学研究 (日本民族学会)	29-33, 35-38	1964-74
モダンメディシン	17(3), 18(1-7), 19(7, 10)	1988-90
Molecular Medicine	30-36+	1993-99
モンキー	1-43+	1957-99
日本不妊学会雑誌	21(1, 3-4), 22(4), 25(4), 29(1-3), 30, 31(1, 3-4), 32(1-2, 4), 33(1-2, 4), 34(1-2, 4)	1976-89
日本学術会議月報	9(1), 10, 11(2, 11-12), 12(1-7, 10-12), 13-14, 15(4-11), 16(1-2, 5-11), 17, 18(1-5, 7-12), 19(1-4, 6-12), 20, 21(1-5, 7-12), 22(1-4, 6, 8-12), 23(2, 4-7), 24(5-11), 28, 29(1-6, 10-12), 30-35	1968-94
日本平滑筋学会雑誌	12(2-3), 13(1-4)	1976-77
日本法医学雑誌	25-26, 27(1-3, 6), 28-36, 37(1-3, 5-6), 38-48, 49(1-4)	1971-95
日本醫事新報	2459, 2461, 2464-2466, 2476-2592	1971-73
日本医史学雑誌	28(2-4), 29-30, 31(1-3), 32-35	1982-89
日本内分泌学会雑誌	51(9-12), 52-53, 54(1-8, 10-12), 55-56, 57(1-3, 5-12), 58, 59(1-3, 10-12), 60(1-8), 61(4-12), 62, 63(1-3)	1975-87
日本音響学会誌	42(4-12), 43-54	1986-98
日本臨牀	33(6), 37(6), 39(2), 40(2, 5, 7, 12), 41(8), 43(4), 46(5), 48(11)	1975-90
日本産科婦人科学会雑誌	26(8), 29(5, 8, 11), 30(11), 31(8, 10, 11), 32(10-11), 33(4), 34(1, 3), 35(1, 12), 36(1-8, 11-12), 37(1-11), 38(1-4)	1974-86
日本生気象学会雑誌	16(1-2), 17-18, 19(1, 3), 20(1-2), 21, 22(1-2), 23(1-2), 24(1)	1974-87
日本生理学雑誌	26(2), 27(2), 28(5, 8), 30(2-7, 9-12), 31-51, 52(1-6, 8-12), 56(6, 8-10)	1964-95

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
日本生態学会誌	15-19	1965-69
日本體質學雜誌	17(4-6), 18-19, 20(1-2, 4-6), 21(1-3, 5-6), 22, 23(1-4, 6), 24(1)	1952-59
脳波と筋電図	1-6, 7(1-2, 4), 8-12, 13(2-4), 14(2-4), 15(3-4), 16-22, 23(2-4), 24(1)	1972-96
脳研究	3-6	1949-50
脳と神経	24-45	1972-93
農林省林業試験場年報	45	1970-70
林業試験場研究報告	48, 55, 75, 246-305, 307-314, 316-318, 320-321, 323-325, 327-328	1972-84
林業試験場研究報告・林業	331-334, 336-337, 339, 341-344, 346, 348-349, 351, 353-354	1984-89
林業試験場研究報告・林業・林産	355	1989-89
臨床科学	11(1-6, 10), 13(4), 17(9), 19(6, 11), 20(3, 5, 10-11)	1975-86
ラボラトリーアニマル	1-4, 5(1)	1984-88
霊長類研究	1-15+	1985-99
臨床検査	15(1, 3-12), 16-43+	1971-99
最新医学	26-29, 30(1-11)	1971-75
産婦人科の世界	23-24, 25(1), 34(8)	1971-82
産科と婦人科	38(1-3, 5-12), 39(1-11), 40(1)	1971-73
生物物理	6(1), 10(3, 6), 11-14, 15(1)	1966-75
生物科学	28-51+	1976-99
生物科学ニュース	65-112, 114-339+	1977-2000
生理生態	1-17	1947-76
生体の科学	21(5-7), 22-25, 26(1-3, 6), 27-41, 42(1, 3-4, 6), 43-50+	1970-99
神経研究の進歩	10(4), 13(4), 16-19, 21(4), 22(4-6), 24(6), 25(1-2, 5), 26(2, 5-6), 30(5-6), 31(4, 6), 32(3-6)	1966-88
神経精神薬理	7(1-7, 9-12)	1985-85
心理学研究	47(6), 48(2-6), 49-53, 54(1-2), 55-58, 59(1-5)	1977-88
姿勢研究	1-11	1981-92
自然	23-38, 39(1-5)	1968-84
自然史研究	1	1968-84
総合臨牀	18(5), 25(9-10), 31(2, 10), 33(11)	1969-84
体力科学	33-38, 39(1-5), 40-41, 42(2-5), 43(2-6)	1984-94
代謝	23-29	1986-92
蛋白質・核酸・酵素	6(11), 7(7, 13), 8(5), 9(4-15), 10(1-6, 8, 10-16), 11-14, 15(1-4, 6-12), 16-34, 35(1-3, 5-13, 15-16), 36(2-15), 37(1-10, 12-13, 15-16), 38(1-2, 4-5, 8-9, 11-14, 16), 39(1-14, 16), 40(1-5, 7-9, 11-17), 42-43	1961-98
東南アジア研究	1-4, 2-37+	1963-99
土の声・民の声	84-94	1978-79
野生生物保護	2-4+	1996-99
在来家畜調査団報告	1-5	1964-72
在来家畜研究会報告	6-10	1974-83
全日本鍼灸学会雑誌	34, 35(1)	1984-85
科学新聞	1679-1685, 1687-1756, 1758-1856, 1858-2795+	1977-2000
地質科学 (中国雑誌)	1973-1975, 1976(1-3), 1977-1990	1973-90
動物学報 (中国雑誌)	19-21, 22(1-2, 4), 23-40, 41(2-4), 42, 43(1-3)	1973-97

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
動物学研究 (中国雑誌)	2, 3(1), 4(1, 3-4), 5(1, 3-4), 6-12, 13(1-3), 14-19, 20(2-5)+	1981-99
人類学学報 (中国雑誌)	1(1-2), 2-18+	1982-99
考古学報 (中国雑誌)	1973-1990	1973-90
古脊椎動物学報 (中国雑誌)	22-37+	1984-99
古脊椎動物与古人類 (中国雑誌)	11(1-2), 12-13, 14(1-3), 15-16, 17(1), 18-19, 20(1-3), 21(2-4)	1973-83
植物学報 (中国雑誌)	15(1-2), 16-32	1973-90

(4) 欧文雑誌リスト

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
Abstracts (Society for Neuroscience)	3-20	1977-94
Abstracts and Reviews in Behavioral Biology	9	1972-72
Acta Endocrinologica	75-80	1974-75
Acta Endocrinologica.Supplementum	181-201	1974-75
Acta Neurobiologiae Experimentalis	30(4), 31-56	1970-96
Acta Neurobiologiae Experimentalis.Supplementum	1	1971-71
Acta Physiologica Scandinavica	78-137	1970-89
Acta Physiologica Scandinavica.Supplementum	332-586	1969-89
Acta Physiologica Scandinavica.Special Supplementum	1978	1978-78
Advances in Enzymology and Related Areas of Molecular Biology	40-56	1974-84
Advances in Protein Chemistry	28-36	1974-84
African Journal of Ecology	17-37+	1979-99
American Anthropologist N.S.	70-101+	1968-99
The American Journal of Anatomy	139-192	1974-91
The American Journal of Human Biology	9-11+	1997-99
The American Journal of Human Genetics	20-65+	1968-99
American Journal of Obstetrics and Gynecology	109(3-8), 110-147	1971-83
American Journal of Physical Anthropology. N. S.	10-11, 13-14, 17-110+	1952-99
American Journal of Physical Medicine	50-57	1971-78
American Journal of Physiology	222-243	1972-82
American Journal of Physiology. Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	1-10	1977-81
American Journal of Primatology	1-49+	1981-99
The American Naturalist	106-154+	1972-99
The American psychologist	7(1, 3-6), 29-51	1952-96
Analytical Biochemistry	57-135	1974-83
The Anatomical Record	166-234, 235(1)	1970-93
Anatomischer Anzeiger	126-173	1970-91
Animal Behaviour	17-58+	1969-99
Animal Cognition	2+	1999-99
Animal Learning and Behavior	1-19, 20(1-2, 4), 21-27+	1973-99
Annals de la Fondation Fyssen	1-4, 7-8	1985-93
Annals of Anatomy	174-177	1992-95

雜 誌 名	所 藏 卷 号	期 間
Annals of the New York Academy of Sciences	115(2), 117(1), 118(12, 21), 134(2), 147(4), 156(2), 157(2), 159(3), 160(1), 162(1), 164(3), 166(3), 167(1), 169(1, 3), 299, 331, 341-342, 344, 346, 370, 374, 425, 453, 473, 500, 512, 560, 620, 862	1964-98
Annual Review of Biochemistry	1-3, 5-10, 18-19, 21-22, 25-26, 35-41, 43-68+	1932-99
Annual Review of Ecology and Systematics	1-30+	1970-99
Annual Review of Physiology	25-56	1963-94
Annual Review of Psychology	8-10, 16-46, 48-50+	1957-99
Anthropological Quarterly	41-72+	1968-99
Anthropologie	72-74, 100-102	1968-98
Anthropologischer Anzeiger	31-53	1968-95
Archives Italiennes de Biologie	106-113	1968-75
Archives Suisses d'Anthropologie Generale	32-34, 37	1967-73
Australian Journal of Zoology	22-32	1974-84
Australian Journal of Zoology. Supplementary series	24-103	1974-84
Behavior Research Methods and Instrumentation	1-15	1969-83
Behavior Research Methods, Instruments, and Computers	16-31+	1984-99
Behavioral and Brain Sciences	1-13, 15	1978-92
Behavioral and Neural Biology	25-62	1979-94
Behavioral Biology	7-24	1972-78
Behavioral Ecology and Sociobiology	1-12, 13(1-3), 14-46+	1976-99
Behavioral Neuroscience	97-113+	1983-99
Behavioral Science	1-7, 10-22	1956-77
Behaviour	33-136+	1969-99
Behavioural Brain Research	2-6, 8-16, 18-55	1981-93
Bibliography of Reproduction	17-26	1971-75
Biochemical and Biophysical Research Communications	38-125	1970-84
Biochemical Genetics	16-37+	1978-99
Biochemical Journal. Cellular Aspects.	186-216	1980-83
Biochemical Journal. Molecular Aspects.	185-215	1980-83
Biochemical Society Transactions	8-11	1980-83
Biochemistry	13-23	1974-84
Biochimica et Biophysica Acta.	27-36, 49, 51, 53-54, 60	1958-62
Biochimica et Biophysica Acta. Protein Structure	P30-P68, P70-P76	1974-81
Biochimica et Biophysica Acta. Protein Structure and Molecular Enzymology	P1-P10	1982-82
Biochimica et Biophysica Acta. Specialized Section on Nucleic Acids and Related Subjects.	55	1962-62
Biological Conservation	43-92+	1988-2000
Biology of the Neonate	26-29	1975-76
Blood Vessels	19-28	1982-91
Brain	84-107, 109-115, 120-122+	1961-99
Brain and Cognition	30-41+44	1996-99
Brain and Language	3-41	1976-91

雜誌名	所藏卷号	期間
Brain, Behavior and Evolution	1-52	1968-98
Brain, Behavior and Immunity	1-3	1987-89
Brain Research	1-312, 314-387, 389-501, 503-599	1966-92
Brain Research Bulletin	3-17, 19-23	1978-89
Brain Research Reviews	1-4, 5(1-2), 6-17	1979-92
Bulletin de l'Académie Malgache N.S.	44(2), 52(1-2), 53(1-2)	1966-75
Bulletin of the Psychonomic Society	1-31	1973-93
Bulletins et Mémoires de la Société d'Anthropologie de Paris. Sér.12	3-4, 6	1968-70
The Canadian Journal of Neurological Sciences	4-19	1977-92
Canadian Journal of Psychology	19-30	1965-76
Carnivore	2(3-4), 3-7	1980-84
Cell	52(3-4), 53(2-6), 54-65, 66(1, 3-6), 67-75	1988-93
Child Development	62-70+	1991-99
Cladistics	1-15+	1985-99
Clinical Microbiology Newsletter	4(19-24), 5-6, 7(1-7, 9-24), 8-16, 17(1-15), 18(1-2, 4-24), 19-21+	1982-99
Cognition	38-73+	1991-99
Cognition and Brain Theory	4	1981-81
Communications in Behavioral Biology.Pt.A.	1-6	1968-71
Communications in Behavioral Biology.Pt.B.	1-8	1968-71
Comparative Medicine	50+	2000-2000
Comptes rendus de l'Académie des sciences. Série II, Sciences de la terre et des planetes	328-329+	1999-99
Conditional Reflex	4-6	1969-71
Cortex	9-11	1973-75
CSA Neurosciences Abstracts	1	1983-83
Current Anthropology	1-40+	1960-99
Current Contents.Behavioral, Social & Management Science	1(1-19, 21, 23-42), 2	1969-70
Current Contents.Behavioral, Social and Educational Sciences	3-5	1971-73
Current Contents.Life Sciences	12-15, 16(1-17, 19-52), 19-21, 22(1-2, 4- 52), 23-24, 25(1-47, 49-52), 26-33, 34(1-4)	1969-91
Current Contents.Social & Behavioral Sciences	6(6-52), 7(1-8)	1974-75
Current Contents on Diskette (Life Science)	34-40	1991-97
Current Contents on Diskette (Life Science) With Abstracts	37-42+	1994-99
Current Opinion in Neurobiology	9+	1999-99
Current Primate References	1967(12), 1968-1999	1967-99
Developmental Brain Research	1-10, 12-70	1981-92
Developmental Dynamics	193-198	1992-93
Developmental Psychobiology	15-16, 17(1-2, 4, 6), 18-19, 22-33	1982-98
Developmental Psychology	1-35+	1969-99
East African Wildlife Journal	15-16	1977-78

雜誌名	所藏卷号	期間
Ecological Monographs	40-69+	1970-99
Electroencephalography and Clinical Neurophysiology	1-41, 48-85	1949-92
Electromyography	11	1971-71
Electromyography and Clinical Neurophysiology	12-18	1972-78
Endocrinology	90-100, 101(1-4, 6), 102-133, 134(1-5), 135-140+	1972-99
Ethology	71-105+	1986-99
Ethology and Sociobiology	1(1-4), 2(1), 5-17	1979-96
Evolution	30-53+	1976-99
Evolution and Human Behavior	18-20+	1997-99
Evolutionary Anthropology	1(1), 2-5	1992-96
Excerpta Medica.Sect.1	22-24	1968-70
Excerpta Medica.Sect.10	24, 25(1-10)	1971-72
Experimental Brain Research	1-30, 31(1-2, 4), 32-102	1966-94
Experimental Neurology	1-118	1959-92
The FASEB Journal	1-8, 9(1-11, 13-14), 10-13+	1987-99
Federation Proceedings	29-46	1970-87
Fertility and Sterility	23-24, 25(1-3, 7-12), 26-38	1972-82
Folia Primatologica	1-70+	1963-99
General and Comparative Endocrinology	46-60	1982-85
Genetics	88-153+	1978-99
Gorilla	8-22+	1984-2000
Hereditas	96-123	1982-95
Hormones and Behavior	2-16	1971-82
Human Biology	40-71+	1968-99
Human Ecology	2-27+	1974-99
Human Evolution	1(1-5), 2-14+	1986-99
Human Molecular Genetics	1-7	1992-98
Infant Behavior and Development	19-21, 22(1-3)+	1996-99
International Immunology	1, 2(1-10)	1989-90
International Journal of Andrology	1-12	1978-89
International Journal of Andrology.Supplement	1-2	1978-78
International Journal of Neuroscience	21-35, 38-64, 67-72	1983-93
International Journal of Osteoarchaeology	1-9+	1991-99
International Journal of Primatology	1-20+	1980-99
IPPL Newsletter	[1-5], [10-13], 14-22, 23(1-2), 24-26+	1974-99
IUCN/SSC Primate Specialist Group Newsletter	1-4	1981-84
Japanese Journal of Physiology	15, 16(2-6), 17(1-3, 5-6), 18-21, 22(2-6), 23-28, 29(2-4), 30-38	1965-88
Japanese Psychological Research	18(4), 19-28, 29(2-4), 30(1-2)	1976-88
Journal of the Acoustical Society of America	83-88, 89(1-3, 5-6), 90(1, 3, 5-6), 91(1-3, 5-6), 92(1-3, 5-6), 93(1-3, 5-6), 94(1-2, 4-6), 95(1-4, 6), 96(1-4, 6), 97(1-4, 6), 98(1-4, 6), 99(1-3, 5-6), 100(1-3, 5-6), 101(1-4, 6), 102(1, 3-4, 6), 103-104, 105(1, 3-6), 106(1-3, 5-6)	1988-99

雜 誌 名	所 藏 卷 号	期 間
Journal of the Acoustical Society of Japan (E)	7(3-6), 8-19	1986-98
Journal of the American Veterinary Medical Association	60-163	1972-73
The Journal of Animal Ecology	39-68+	1970-99
Journal of Anthropological Research	29-52	1973-96
Journal of Applied Physiology	32-41	1972-76
Journal of Applied Physiology. Respiratory, Environmental and Exercise Physiology	42-49	1977-80
Journal of Archaeological Science	26+	1999-99
Journal of Biochemistry	63-124	1968-98
The Journal of Biological Chemistry	249-274+	1974-99
Journal of Biomechanics	7-13, 14(1-2)	1974-81
Journal of the Bombay Natural History Society	58(2-3), 59(1-2)	1961-62
Journal of Bone and Joint Surgery. American Volume	52-59	1970-77
Journal of Bone and Joint Surgery. British Volume	52-59	1970-77
Journal of Child Language	17-26+	1990-99
Journal of Cognitive Neuroscience	11+	1999-99
Journal of Comparative Neurology	138-276, 278	1970-88
Journal of Comparative and Physiological Psychology	59-96	1965-82
Journal of Comparative Psychology	97-113+	1983-99
The Journal of Ecology	58-87+	1970-99
Journal of Endocrinology	49-67	1971-75
Journal of Ethology	5-7	1987-89
Journal of the Experimental Analysis of Behavior	1-67, 68(2-3), 69-70	1958-98
Journal of Experimental Child Psychology	51-66, 67(2-3), 68-71	1991-98
Journal of Experimental Psychology	37-39, 40(1-2, 4-6), 41, 42(1-2, 4-6), 43, 45(1-3, 5-6), 46, 47(1-2, 4-6), 48, 57-68, 79-103	1947-74
Journal of Experimental Psychology: Animal Behavior Processes	1-25+	1975-99
Journal of Experimental Psychology: General	104-128+	1975-99
Journal of Experimental Psychology. Human Learning and Memory	1-7	1975-81
Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance	1-22, 23(1-5), 24-25+	1975-99
Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition	8-15, 16(1, 3-6), 17-25+	1982-99
The Journal of General Physiology	12-22, 71-100, 103-104	1929-94
Journal of Human Ergology	1-14, 18(2), 20(1), 21	1972-92
Journal of Human Evolution	1-37+	1972-99
Journal of Immunology	136-137, 138(1-4)	1986-87
Journal of Mammalian Evolution	1-6+	1993-99
Journal of Mammalogy	52-80+	1971-99
Journal of Medical Primatology	1-28+	1972-99
Journal of Molecular Evolution	3-49+	1974-99
Journal of Neurochemistry	22-32, 33(1-2, 4-6), 34-43	1974-84

雜 誌 名	所 藏 卷 号	期 間
Journal of Neurophysiology	29, 31-38	1966-75
Journal of Neuroscience Methods	1, 3-9	1979-83
Journal of Physiology	106-144, 145(1, 3), 146-147, 148(1-2), 149(1, 3), 150-489	1947-95
Journal of Reproduction and Fertility	32-117+	1973-99
Journal of Speech and Hearing Research	34-35, 36(1, 3-6), 37-38, 39(3-6), 40-42+	1991-99
The Journal of the Royal Antropological Institute	1-5+	1995-99
Journal of Theoretical Biology	56-69, 196-202+	1976-2000
Journal of Tropical Ecology	1-15	1985-99
Journal of Vascular Research	29-36+	1992-99
The Journal of Wildlife Management	33-63+	1969-99
Laboratory Animal Care	20	1970-70
Laboratory Animal Science	21-49	1971-99
Laboratory Animals	1-28, 29(2-4), 30-33+	1967-99
Laboratory Primate Newsletter	4-34, 35(1, 3-4), 36-38+	1965-99
Learning and Motivation	22-30+	1991-99
Life Sciences.Pt.1	11, 12(1-9)	1972-73
Malayan Nature Journal	17, 18(1)	1963-64
Mammalia	44-62, 63(1-2)+	1980-99
Man N.S.	3-29	1968-94
Memory and Cognition	1-19, 20(1-5), 21-27+	1973-99
Molecular Biology and Evolution	14(1,3-12), 15	1997-98
Molecular Brain Research	1, 3-16	1986-92
National Geographic	146-196+	1974-99
Natural History	102(3-12), 103-105, 106(1-2)	1993-97
Nature	166-167, 169-180, 185-403+	1950-2000
Nature Genetics	1-11, 12(1-3), 13-23+	1992-99
Nature Neuroscience	2+	1999-99
Nature.New Biology	229-246	1971-73
Nature.Physical Science	229-246	1971-73
Neurobiology of Aging	15-19	1994-98
Neurobiology of Learning and Memory	63-72+	1995-99
Neuroendocrinology	7-50	1971-89
Neuropharmacology	25-31	1986-92
Neuropsychologia	1-36	1963-98
Neuroreport	2(1-2, 7-8), 3(1, 7, 9-12), 4(1-3,5-7,10-12)	1991-93
Neuroscience	1-63	1976-94
Neuroscience Abstracts	2	1976-76
Neuroscience Letters	2-116, 118-140, 142-146	1976-92
Neuroscience Letters.Supplement	1-29	1978-87
Neuroscience Research	1-32	1984-98
Neuroscience Research.Supplement	1-14, 16, 21	1985-97
Neuroscience Research Communications	1-5, 6(1)	1987-90
Neuroscience Research Program Bulletin	9-12, 13(1-3), 14(1-2), 15-17	1971-79
Nucleic Acids Research	19-25, 26(2-24)	1991-98

雜 誌 名	所 藏 卷 号	期 間
Oikos	25-83	1974-98
Oryx	12-13, 14(1-4), 15(1-5), 16(1-3)	1973-82
Perception	28+	1999-99
Perception and Psychophysics	19-61+	1976-99
Perceptual and Motor Skills	28-43	1969-76
Physics Today	41(9-12), 42-44, 45(1-5, 7-12), 46(1-11), 47(1-12), 48(1-10, 12), 49(1-2, 5-12), 50(1-2, 4-12), 51, 52(1-10, 12), 53(1-3)	1988-2000
Physiological Psychology	1-14	1973-86
Physiological Reviews	50-69, 70(1), 76-79+	1970-99
Physiological Zoology	45-53	1972-80
The Physiologist	13-18, 19(1, 4), 20, 22-23	1970-80
Physiology and Behavior	1-48, 49(1-3)	1966-91
Physiology and Ecology Japan	18-31+	1981-95
Primate Conservation	5-9	1985-92
Primate Eye	30-57, 59-64, 66-69+	1986-99
Primate News	[5-24]	1967-90
Primate Report	8-53+	1981-99
Primates	1-40+	1957-99
Proceedings of the Australian Physiological and Pharmacological Society	1(1-2), 2(1), 3(1), 4(2), 5(1-2), 6-12, 13(1), 14(2)	1970-83
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	14-15, 65-67, 71-79, 80(1-13, 15-24), 81-96+	1928-99
Proceedings of the Royal Society of London. Ser.B, Biological Sciences	175(1039-1041), 176(1042)	1970-70
Prostaglandins	1-13	1972-77
Psychobiology	15-26	1987-98
Psychological Abstracts	39-62, 64-68, 69(4-6), 70	1965-83
Psychological Bulletin	38(2-3, 5-8), 40-86, 87(1-3), 88-125+	1941-99
Psychological Review	17(1-2), 54, 56(1, 3-6), 57-59, 60(1-2, 4-6), 62-63, 64(3-6), 65-106+	1910-99
Psychonomic Bulletin and Review	1-6+	1994-99
Psychonomic Science	1-11, 12(1-4), 13(4-6), 14-29	1964-72
The Quarterly Journal of Experimental Psychology Section A	43- 52+	1991-99
The Quarterly Journal of Experimental Psychology Section B	43-52+	1991-99
Recent Literature of Mammalogy	55-66	1974-85
Researches on Population Ecology	8-9	1966-67
Science N.S.	151-287+	1966-2000
Scientific American N.S.	126-151, 217(4-6), 218, 219(1-3, 6), 220-281+	1921-99
The Scientific Reports of the Whales Research Institute	1-5, 10, 16-38	1948-87
The Scientist	2-3, 4(1, 14)	1988-90
Southwestern Journal of Anthropology	24-28	1968-72

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
Soviet Anthropology and Archeology	6(4), 7-18	1967-79
Soviet Psychology	6(3-4), 7-8, 9(1-2)	1968-71
Species	25-29	1995-97
Symposia of the Zoological Society of London	1-4, 8, 10, 13-15, 17-18, 21, 23-24, 26, 33, 46, 48-49, 51, 60	1960-88
Systematic Biology	41-48+	1992-99
Systematic Zoology	25-40	1976-91
La Terre et la vie	30-36, 37(1-2), 38(1-2), 39-54	1976-99
Trends in Neurosciences	1-3, 4(1-6, 8-12), 5(1-11), 6(1-7, 9-12), 7(1-10, 12), 8-10, 11(1-3, 5-9, 11-12), 12(1-7, 9-12), 13(2, 4-6, 8-12), 14(3)	、 1978-91
Vision Research	1-39	1961-99
Wildlife Monographs	19-143+	1970-99
Wildlife Society Bulletin	1-3, 23-27+	1973-99
Yearbook of Physical Anthropology	3-8, 10-11, 13-15, 18-42+	1947-99
Zeitschrift für Morphologie und Anthropologie	59(3), 60-82+	1967-99
Zeitschrift für Säugetierkunde	1-3, 4(1-2, 4-6), 5-7	1926-32
Zeitschrift für Tierpsychologie	1, 52-70	1937-85
Zeitschrift für Versuchstierkunde	14-20	1972-78
Zoological Science	1-13	1984-96
Нейрофизиология	2-4, 5(2-6), 6-7	1970-75

(5) 継続図書リスト

書 名	所蔵巻号	期間	請求記号
Advances in Child Development and Behavior	1-27+	1963-2000	159.92 A
Advances in the Study of Behavior	1-28+	1965-1999	159.929+591.5 A
Contributions to Primatology	1-26	1974-1991	599.8 C
Evolutionary Biology	1-30+	1967-1997	574/578 E
Modern Quaternary Research in Southeast Asia	1-15+	1975-1997	551.79(59) M
Nebraska Symposium on Motivation	16-45+	1968-1998	159.94 N
Oxford Surveys in Evolutionary Biology	1-9	1984-1993	576.1 O
The Psychology of Learning and Motivation	1-38+	1967-1999	159.94+159.95 P

霊長類研究所図書室利用規定

・開室時間と休室

1. 開室時間

平日：9時から17時まで。

2. 休室

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始は休室とする。

その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員で、閲覧者カードを提出する者。
- 3) 1)、2)以外の、京都大学に所属する者で、所属図書施設の紹介のある者。
- 4) 本研究所教職員の紹介のある者。

2. 閲覧

- 1) 閲覧者は図書室内で図書（単行本、雑誌、その他の資料）を自由に閲覧できる。
- 2) 閲覧後の図書は必ずもとの場所にもどす。

・貸出及び返却

1. IIの1の1)及び2)の該当者は、下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。

1) 借用資料の種類と借用方法

a. 単行本

- (1) 単行本は1カ月間借用できる。
- (2) 借用時には、ブックカードおよび代本版用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本版用紙は代本版の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。

b. 製本雑誌

- (1) 製本雑誌は3日間借用できる。
- (2) 借用方法は単行本に準じる。

c. 未製本雑誌

- (1) 未製本の雑誌は15時から翌朝10時までの間に限り借用できる。
- (2) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。

d. 別刷

- (1) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。

- (2) 利用後は、返却台の箱に返却する。

e. 他機関からの借用資料

- (1) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
- (2) 利用後は図書係員に返却する。
- 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。
- 3) 借用中の資料を転貸してはならない。
- 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。ただし、他に借用希望者がある時は、そちらを優先する。
- 5) 借用後の図書は返却台に返却する。
2. IIの1の3)の該当者は、所属の図書施設を通じて借用を依頼することができる。借用資料は単行本のみで、所属図書施設内での利用に限る。
借用期限は2週間とするが、本研究所所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

・総点検及び長期貸出

1. 毎年1回図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。
2. 総点検期間中、原則として図書室は休室とする。
3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

・その他

1. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。
2. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。
3. 書庫および閲覧室内は禁煙とする。

(昭和51年制定)

平成10年7月8日一部改正)

4. サル類飼育頭数・動態

1999年度(平成11年度)末 飼育頭数

種 名	頭 数	種 名	頭 数
オ オ ガ ラ ゴ	1	ア カ ゲ ザ ル	193
コモンマーモセット	36	タ イ ワ ン ザ ル	13
ワタボウシタマリン	24	ブ タ オ ザ ル	2
ヨ ザ ル	14	ベ ニ ガ オ ザ ル	1
リ ス ザ ル	6	ボ ン ネ ッ ト ザ ル	9
フサオマキザル	18	カ ニ ク イ ザ ル	46
ケナガクモザル	1	セ レ ベ ス マ カ ク	1
ミ ド リ ザ ル	4	マ ン ト ヒ ヒ	7
バ タ ス ザ ル	1	シ ロ テ テ ナ ガ ザ ル	2
ミトリスサル×ハタスサル	2	ア ジ ル テ ナ ガ ザ ル	4
ニ ホ ン ザ ル	375	チ ン バ ン ジ ー	10
		合 計	770

1999年度(平成11年度)サル類動態表

区 分 種 名	増加 出 産	減 少 (死亡など)									
		実 験 殺	管 理 疾 患	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	代 謝 器 系 疾 患	感 染 症	外 傷 死	そ の 他 の 疾 患	剖 検 不 能 等	不 明
コモンマーモセット	17	8		2				4	3	1	3
ワタボウシタマリン	2	2		1					1		
ヨ ザ ル	2	1									
リ ス ザ ル	2										
フサオマキザル	5										2
ニ ホ ン ザ ル	56	26	1		3		3	2	3	6	2
ア カ ゲ ザ ル	30	42	2		1	1		2	2	2	
タ イ ワ ン ザ ル	2	2						1			
カ ニ ク イ ザ ル	4	4			2						
ボ ン ネ ッ ト ザ ル	1	3									
マ ン ト ヒ ヒ							1				
ア ジ ル テ ナ ガ ザ ル	1										
小 計	122	88	3	3	6	1	4	9	9	9	7
合 計	122	1 3 9									

注) (増加頭数) (減少頭数) 差引頭数

$$122 - 139 = \Delta 17 \text{ (減少)}$$

5. 資料

霊長類研究所の所蔵する資料は、骨格標本、化石模型、液浸標本などからなり、多くがデータベース化されている。資料は、基本的にすべて公開されており、資料委員会の許可のもと、使用希望者に提供される。貸し出しも行っている。

(1) 霊長類骨格資料 (表1)

現在、登録された標本は、別表のように、6746体にのぼる。その4分の3はマカク類を中心とした旧世界ザルである。新世界ザルの標本は、約1400体ある。類人猿およびツパイを含む原猿類の標本は、それぞれ数十点ずつである。

(2) 霊長類以外の骨格標本 (表2)

霊長類以外の骨格標本は、大部分が哺乳類である。特にタヌキ、キツネ、ツキノワグマ、テン、イタチ、イノシシ、シカ、カモシカなどの日本産

哺乳類を多く所蔵している。日本産の野生動物が減少している現在、これらの資料は貴重なものとなっている。

骨格標本はすべて、研究所新棟4階と本館地下の骨格資料室の移動式標本架に保管されている。種ごとに分けられ、種のなかでは標本番号の順に棚に並べられている。資料室に設置されたコンピュータ上で骨格標本データベースの検索が可能である。データベースで利用できる情報は、標本番号、種番号、属名、種名、登録日、性別、体重、座高、前胴長などである。

(3) 化石模型標本

化石人類、化石霊長類の模型標本は新棟4階の展示室に保管し、そのうち代表的な化石の模型を研究所見学者むけに公開している。これらは比較研究用の資料として所外の研究者にも利用されている。化石模型の分類名、産地、部位などは、データベースによって検索できる。

表1 霊長類骨格資料 (平成11年度)

和名	学名	標本数	和名	学名	標本数
類人猿	Hominoidea	75	新世界ザル	Ceboidea	1409
テナガザル属	<i>Hylobates</i> spp.	50	リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	985
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	22	ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	54
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	2	ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	49
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	1	ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	48
旧世界ザル	Cercopithecoidea	5201	クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	7
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	3543	ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3
ラングール属	<i>Presbytis</i> spp.	176	ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	16
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	362	オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	81
コバナテングザル属	<i>Simias concolor</i>	132	サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	13
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	558	ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	15	ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	15	ピグミーマーモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	6
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	383	マーモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	54
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	17	タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	85
			ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6
			原猿類 (含ツパイ)	Prosimii & Tupaia	61
			総計		6746

(4) その他の標本

液浸標本数百点、被毛標本数十点が保管されている。液浸標本は、共同利用研究者などを対象に、研究や教育の資料として提供されている。これらについても、データベース化が進行中である。

このように本研究所の骨格資料は電子データベース化され、国内外の研究者に有効に利用され

ている。資料委員会は、新しい標本の作製・受け入れもおこなっており、毎年約300体の霊長類標本が追加されている。資料の一層の充実のため、野外調査などの際に、霊長類その他の標本の採集にご協力をいただきたい。本研究所資料室で登録・保管する他、データのための登録も受け付けています。霊長類研究所資料委員会（委員長 本郷一美）までご連絡ください。

（文責：本郷一美）

表2 その他の骨格資料(平成11年度)

和名	学名	標本数	和名	学名	標本数
食肉目	Carnivora	853	ウサギ目	Lagomorpha	9
イヌ科	Canidae	515	ウサギ科	Leporidae	8
ネコ科	Felidae	16	ナキウサギ科	Ochotonidae	1
クマ科	Ursidae	119	食虫目	Insectivora	1
アライグマ科	Procyonidae	3	モグラ科	Talpidae	1
イタチ科	Mustelidae	180	有袋目	Marsupialia	3
ジャコウネコ科	Viverridae	19	オボッサム科	Didelphidae	1
不明		1	ウォンバット科	Vombatidae	1
奇蹄目	Perissodactyla	7	クスクス科	Phalangeridae	1
ウマ科	Equidae	6	貧歯目	Edentata	1
バク科	Tapiridae	1	フタユビナマケモノ科	Megalonychidae	1
偶蹄目	Artiodactyla	119	長鼻目	Proboscidea	1
ウシ科	Bovidae	30	クジラ目	Cetacea	8
シカ科	Cervidae	45	マイルカ科	Delphinidae	8
イノシシ科	Suidae	40	鰐脚目	Pinnipedia	12
ベッカリー科	Tayassuidae	3	アシカ科	Otariidae	12
不明		1		哺乳類計	1078
齧歯目	Rodentia	64		爬虫類	4
ネズミ科	Muridae	19		総計	1082
リス科	Sciuridae	32			
テンジクネズミ科	Caviidae	3			
ヌートリア科	Myocastoridae	1			
ヤマアラシ科	Hystriidae	1			
オマキヤマアラシ科	Erethizontidae	1			
カピバラ科	Hydrochoeridae	1			
バカ科	Agoutidae	2			
不明		4			

6. 人事異動

所 属	職 名	異 動		内 容	備 考
		氏 名	年月日		
センター*	客員教授	MA Huffman	1999.4.15	採 用	外国人研究員
センター*	教 授	松林清明	1999.6. 1	昇 任	センター*助教授より
センター*	教 授	景山 節	1999.7. 1	昇 任	遺伝子情報分野助教授より
行動発現	助教授	櫻井芳雄	1999.10.1	昇 任	京都大学大学院文学研究科教授
センター*	助教授	平井啓久	2000.1. 1	昇 任	集団遺伝分野助手より
センター*	助教授	上野吉一	2000.1. 1	採 用	北海道大学実験生物センター助手より

センター*：人類進化モデル研究センター

7. 海外渡航

所 属	職 名	氏 名	種別	期 間	目的国	目 的
集団遺伝	助 手	平井啓久	研修	11. 4. 7 ～ 11. 4.11	連合王国	WHO住血吸虫ゲノムプロジェクト会議出席 及び研究打ち合わせ
認知学習	助教授	正高信男	研修	11. 4.13 ～ 11. 4.19	アメリカ合衆国	小児発達学会出席
生態機構	助 手	松村秀一	研修	11. 4.19 ～ 11. 5. 3	インドネシア	ムーアモンキーの社会生態学的研究
系統発生	助 手	高井正成	出張	11. 4.27 ～ 11. 5.28	アメリカ合衆国 コロンビア・ボリビア	広鼻猿類化石発掘調査
センター	客 員 教 授	MA. Huffman	研修	11. 5. 7 ～ 11. 5.28	タンザニア ウガンダ・ケニア	野生チンパンジーの社会的・生態学的調査 と研究連絡
集団遺伝	助 手	平井啓久	研修	11. 6. 1 ～ 11. 6. 8	マダガスカル	マダガスカル原猿の血液試料採取及び 共同研究打ち合わせ
器官調節	助 手	大蔵 聡	研修	11. 6. 8 ～ 11. 6.13	アメリカ合衆国	エネルギー平衡、摂食及び肥満に関する神経内 分泌ワークショップ出席及び研究打ち合わせ
形態進化	教 授	片山一道	研修	11. 6.15 ～ 11. 6.27	トルコ共和国	アナトリア考古学研究所で出土人骨の調査
社会構造	非常勤 研究員	橋本千絵	出張	11. 6.15 ～ 11.10. 5	ウガンダ	野生チンパンジーの生態学的調査
認知学習	助 手	中村克樹	出張	11. 6.22 ～ 11. 6.30	ドイツ	「ヒト脳の記憶」に関する研究打ち合わせ
系統発生	助 手	本郷一美	出張	11. 6.28 ～ 11. 7. 5	ベトナム	霊長類骨格標本の調査及び研究連絡
系統発生	教 授	茂原信生	出張	11. 6.28 ～ 11. 7. 5	ベトナム	霊長類骨格標本の調査及び研究連絡
行動発現	教 授	三上章允	出張	11. 7. 9 ～ 11. 7.23	イスラエル ドイツ	第5回国際脳研究機構大会参加及び研究連絡
系統発生	助 手	本郷一美	研修	11. 7.19 ～ 11.8. 6	トルコ共和国	遺跡出土の動物骨資料の調査研究
形態進化	助 手	國松 豊	出張	11. 7.20 ～ 11.11. 1	ケニア	霊長類化石の発掘調査
社会構造	教 授	加納隆至	出張	11. 7.26 ～ 11. 9.28	タンザニア	ボノボの分布と生態的特性
センター	客 員 教 授	MA. Huffman	研修	11. 8. 5 ～ 11. 9. 1	デンマーク スペイン・イタリア	第17回世界寄生虫獣医学進行連合大会出席・ 発表及び研究連絡

所 属	職 名	氏 名	種別	期 間	目的国	目 的
形態進化	助教授	濱田 稔	出張	11. 8. 5 ～ 11. 8. 29	ガボン共和国 ドイツ	西ローランドゴリラ等類人猿の形態学的資料 の収集
遺 伝 子 情 報	助 手	中村 伸	出張	11. 8. 10 ～ 11. 8. 27	アメリカ合衆国 連合王国	Bウイルスに対する遺伝子ワクチンに関する 研究
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	11. 8. 10 ～ 11. 8. 31	インドネシア	オランウータンの生態学的研究
集団遺伝	助教授	川本 芳	研修	11. 8. 11 ～ 11. 8. 20	タイ王国	ツバイの種分化に関する遺伝学的研究
集団遺伝	助 手	平井啓久	出張	11. 8. 11 ～ 11. 8. 18	タイ王国	ツバイの種分化に関する遺伝学的研究
系統発生	教 授	茂原信生	出張	11. 8. 13 ～ 11. 8. 26	コロンビア	霊長類化石の発掘調査
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	11. 8. 15 ～ 11. 8. 25	マレーシア	オランウータンの行動の研究
思考言語	助教授	友永雅己	出張	11. 8. 15 ～ 11. 9. 5	イタリア フランス	ヨーロッパ視知覚研究会議出席及び研究連絡
系統発生	助 手	本郷一美	研修	11. 8. 17 ～ 11. 8. 27	モンゴル	騎馬遊牧民文化の起源と発展に関する調査 研究
生態機構	助 手	松村秀一	研修	11. 8. 21 ～ 11. 9. 6	インドネシア	ムーアモンキーの行動学的研究
遺 伝 子 情 報	教 授	竹中 修	出張	11. 8. 23 ～ 11. 8. 28	アメリカ合衆国	ボノボよりの試料採取
器官調節	助 手	清水慶子	出張	11. 8. 23 ～ 11. 8. 29	アメリカ合衆国	類人猿の生殖分泌学的研究のため
系統発生	助教授	相見 満	出張	11. 9. 10 ～ 11. 10. 8	オランダ・ ドイツ	類人猿の形態学的資料の採集
集団遺伝	教 授	庄武孝義	出張	11. 9. 10 ～ 11. 11. 25	エチオピア・オマーン サウジアラビア	ヒヒ類の種分化に関する集団遺伝学的研究
集団遺伝	非常勤 研究員	嶋田 誠	出張	11. 9. 15 ～ 11. 10. 20	ギニア 象牙海岸・フランス	西アフリカにおける霊長類の生態（痕跡） 調査・試料収集
形態進化	外国人 研究員	Bambang Suryobroto	出張	11. 9. 16 ～ 11. 10. 4	インドネシア	色盲ザルの捕獲調査等及び研究打ち合わせ
生態機構	助 手	松村秀一	出張	11. 9. 19 ～ 11. 12. 5	インドネシア	インドネシアに生息する霊長類の行動学的 研究
センター	客 員 教 授	M.A. Huffman	出張	11. 9. 23 ～ 11. 10. 30	タンザニア	タンザニア国マハレ山塊国立公園における 植物調査
集団遺伝	非常勤 研究員	嶋田 誠	出張	11. 9. 24 ～ 11. 10. 29	象牙海岸 ギニア	チンパンジーの生態調査及び資料収集
行動発現	教 授	三上章允	出張	11. 9. 27 ～ 11. 10. 8	インドネシア	色盲ザルの行動学的・生理学的研究及び 研究打ち合わせ
遺 伝 子 情 報	教 授	竹中 修	出張	11. 9. 27 ～ 11. 10. 8	インドネシア	色盲ザルの捕獲調査及び研究打ち合わせ
センター	助 手	後藤俊二	出張	11. 9. 27 ～ 11. 10. 8	インドネシア	色盲ザルの捕獲調査及び研究打ち合わせ
認知学習	教 授	小嶋祥三	研修	11. 10. 4 ～ 11. 10. 10	イタリア	研究打ち合わせ
認知学習	助 手	中村克樹	出張	11. 10. 20 ～ 11. 10. 29	アメリカ合衆国	第29回北米神経科学大会出席及び研究成果 発表及び研究打ち合わせ
行動発現	教 授	三上章允	出張	11. 10. 22 ～ 11. 11. 5	アメリカ合衆国	第29回北米神経科学大会出席及び情報収集

所 属	職 名	氏 名	種別	期 間	目的国	目 的
器官調節	助 手	大蔵 聡	研修	11.10.23 ～ 11.10.29	アメリカ合衆国	第29回北米神経科学大会出席及び研究成果発表
器官調節	教 授	林 基治	出張	11.10.24 ～ 11.10.30	アメリカ合衆国	第29回北米神経科学大会出席及び研究成果発表
集団遺伝	助教授	川本 芳	出張	11.10.29 ～ 11.12. 4	マダガスカル	ワオキツネザルの集団遺伝学的研究に関する調査
系統発生	助教授	相見 満	出張	11.10.29 ～ 11.12.11	マダガスカル	ワオキツネザルの形態学的研究
系統発生	助 手	高井正成	出張	11.11. 1 ～ 11.12. 1	ミャンマー	化石発掘調査
系統発生	教 授	茂原信生	出張	11.11. 8 ～ 11.11.27	ミャンマー	化石発掘調査
集団遺伝	助 手	平井啓久	出張	11.11.12 ～ 11.12. 4	マダガスカル	ワオキツネザルの細胞遺伝学的研究に関する調査
社会構造	助教授	大澤秀行	出張	11.12.10 ～ 12. 2.18	カメルーン チャド・フランス	アフリカ熱帯林における霊長類の生態的適応研究
生態機構	助教授	森 明雄	出張	11.12.13 ～ 12. 2.27	エチオピア サウジアラビア	ヒヒ類の社会構造の変異に関する生態学的・遺伝学的研究
形態進化	助教授	濱田 穰	出張	11.12.25 ～ 12. 1. 9	カメルーン フランス	「アフリカ熱帯林の霊長類とその草原への進化：比較研究」遂行のための野外調査及び収集資料の分析
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	12. 1. 2 ～ 12. 2.17	ギニア ポルトガル	野生チンパンジーの行動の研究
系統発生	助 手	本郷一美	研修	12. 1.15 ～ 12. 2.19	トルコ共和国 ドイツ	発掘資料分析及び現生骨格標本の計測
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	12. 1.15 ～ 12. 2.27	インドネシア マレーシア	東南アジア島嶼部の霊長類調査
形態進化	助 手	國松 豊	出張	12. 1.17 ～ 12. 2. 5	タイ王国	タイ北部における中新世化石の発掘調査
形態進化	助 手	毛利俊雄	出張	12. 1.20 ～ 12. 2. 1	ニュージーランド オーストラリア	オーストラリア及びニュージーランドでの古人骨の扱いに関する調査
形態進化	教 授	片山一道	出張	12. 1.20 ～ 12. 2. 1	ニュージーランド オーストラリア	オーストラリア及びニュージーランドでの古人骨の扱いに関する調査
センター	教 授	松林清明	出張	12. 1.23 ～ 12. 2. 4	インドネシア	サル類の生殖生物学研究に関する標本採集
器官調節	助 手	清水慶子	出張	12. 2. 1 ～ 12. 2.29	アメリカ合衆国 ドイツ	Bウィルスに対する遺伝子ワクチンに関する調査研究
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	12. 2. 6 ～ 12. 2.27	インドネシア	オランウータン返還に関してのインドネシア政府との打ち合わせ及び現地調査
生態機構	助 手	松村秀一	研修	12. 2.15 ～ 12. 2.28	インドネシア	ムーアモンキーの社会生態学的研究
センター	助教授	上野吉一	出張	12. 3. 9 ～ 12. 3.19	アメリカ合衆国	ヒト幼児における嗅覚の発達に関する研究 関する打ち合わせ
センター	助教授	平井啓久	研修	12. 3.15 ～ 12. 4. 2	アメリカ合衆国 カナダ	染色体マッピングに関わる共同研究並びにWHO会議出席
器官調節	助 手	大蔵 聡	研修	12. 3.19 ～ 12. 3.26	アメリカ合衆国	栄養による生殖系制御の脳内メカニズムに関する研究
系統発生	助 手	本郷一美	研修	12. 3.31 ～ 12. 4.10	ヨルダン イスラエル	国際考古動物学会（西アジア分科学会）出席、発表並びに研究連絡

8. 非常勤講師 (氏名: 講義題目: 日時)

(霊) 岡ノ谷一夫 (千葉大学 文学部 助教授)

「小鳥の歌と4つの質問」

1999年9月27日(月)～9月28日(火)

(理) 村上富士夫 (大阪大学 基礎工学研究科 教授)

「発生神経生物学」

1999年10月5日(火)～6日(水)

(理) 本多清志 (ATR・人間情報通信研究所 第4
部門主任)

「音声の生物学的基礎」

1999年10月25日(月)～10月26日(火)

(理) 上野吉一 (北海道大学 実験生物センター
助手)

「嗅覚・味覚から見た霊長類の世界」

1999年12月8日(水)～12月10日(金)

9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名: 採用期間)

下岡ゆき子:

1999年5月1日～2000年3月31日

竹元 博幸:

1999年5月1日～2000年3月31日

田代 靖子:

1999年5月1日～2000年3月31日

船越 美穂:

1999年5月1日～2000年3月31日

松原 幹:

1999年5月1日～2000年3月31日

10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名: 採用期間)

郷 康広:

1999年4月1日～2000年3月31日

西村 剛:

1999年4月1日～2000年3月31日

藤田 志歩:

1999年4月1日～2000年3月31日

近藤美智和:

1999年10月1日～2000年3月31日

11. 研究活動

(1) 各研究部門及び附属施設

進化系統研究部門

形態進化分野

片山一道・濱田 稔・毛利俊雄・
國松 豊・早川清治¹⁾

<研究概要>

A) ヒトの進化の特異性に関する形態学的研究

片山一道

ヒトは非常に特異な身体特徴をもつ大型類人猿の一種である。そのヒトの特異性を形態学の方法で検索すること、同時に、けた外れに大きなヒトの多様性の意味を解明すること、もってヒト化およびサピエンス化のプロセスの実態、要因、特性などを広く霊長類の進化と適応現象の文脈の中で総合的に考察していくことがテーマである。

ヒトなどの骨格を肉眼観察や鏡観察や計測分析などで調べる骨学研究が主要な研究方法だが、ときにX線撮影法などを駆使した生体学的研究とか、成長加齢現象の分析なども行っている。できるだけ独自の視点で出来るだけシンプルな方法で身近な問題を扱い、まさに大きさと形だけでヒトの特異性を解明していこうとするのが、この研究の心髄である。

もとより人類の進化、つまりヒト化とサピエンス化のプロセスには、他の生物の進化とは異なる大きな特性がある。ひとつは遺伝子の変化を伴わず、体形、行動、存在様式だけが異常な速度で変化した点、ひとつは特殊化せずに、どんどん分布域を拡大していった点である。だからヒトの本質に近づくには、肉眼形態学などのマクロな方法論でアプローチするのが有効な手段となる。ヒトの進化の実態、要因、特性を再検証することによって、「人間とは何か」を考える人間論の領域に深く踏み込んでいきたい。

B) 古人骨の骨考古学的研究

片山一道・杉原清貴²⁾・中井将嗣²⁾

古人骨や化石人骨の研究は、先史時代や過去の人びとの体形や容貌などを推察するための唯一の手段である。同時に、それらの人びとの生活形態を知るにも重要な手段となる。個々の骨に活動痕、生活痕、病痕、傷痕などが刻まれ、骨の元素

12. 広報活動

例年広報委員会では、下記の3行事および年報出版、ホームページ公開等により研究所の紹介を行っている。このほか本年度は、和文パンフレット作成を行った。研究所への見学等は例年通り随時受け入れた。

(1) 夏期セミナー (第11回)

夏期セミナーは霊長類研究所が、全国の大学の学部学生、主として3、4年生を対象として開催している自主的セミナーである。研究所が行っている研究やその研究分野を各部門、センター、施設の教官が紹介した。また将来霊長類の研究を希望する学生との懇談も行った。参加者61名。

夏期セミナープログラム 1999年7月22日～24日
7月22日 (木) <講師>

9:30～10:00 受付
10:00～10:10 所長挨拶・ガイダンス
10:10～11:10 霊長類研究所紹介ビデオ上映
11:20～12:00 人類進化モデル研究センター
景山 節

12:00～13:00 《昼食》
13:00～13:20 記念撮影
13:20～15:20 社会生態研究部門
生態機構分野 上原重男
社会構造分野 大澤秀行
ニホンザル野外観察施設
室山泰之

15:30～16:10 行動神経研究部門
思考言語分野 松沢哲郎・友永雅己
16:20～17:00 認知学習分野 小嶋祥三
17:00～18:30 所内見学
18:30～ 懇親会

7月23日 (金)
10:00～10:40 進化系統研究部門
形態進化分野 濱田 稜
10:50～11:30 系統発生分野 相見 満
11:40～12:20 集団遺伝分野
庄武孝義・平井啓久

12:20～13:20 <昼食>
13:20～14:00 分子生理研究部門
遺伝子情報分野 竹中 修
14:10～14:50 器官調節分野
林 基治・清水慶子
15:00～15:40 行動神経部門
行動発現分野 三上章允
15:50～17:00 質疑応答 講師全員
17:00 解散

7月24日 (土) 受験予定者のための懇談会
10:00～11:00 各分野教官との懇談会 (1)
11:00～12:00 各分野教官との懇談会 (2)

なお参加学生には参考図書として下記のものをあらかじめ推薦しておいた。

京都大学霊長類研究所編「サル学なんでも小事典」
講談社 Blue Backs
西田利貞・上原重男編「霊長類学を学ぶ人のために」
世界思想社
藤田和生「比較認知科学への招待」 ナカニシヤ
イミダス特別編集「人類の起源」 集英社

(2) 公開講座 (第15回)

公開講座は当研究所を中心とした霊長類の研究を広く一般の人々にわかりやすく紹介するためのもので、毎年開催される公的な行事である。幅広い年齢、職業の人々が参加し、2日間にわたって熱心に講義、実習に取り組んだ。参加者65名。

公開講座プログラム 1999年8月19日～20日
8月19日 (木)
9:30～10:00 受付
10:00～12:00 「チンパンジーの聴覚と音声」 小嶋祥三
13:00～15:00 「環境ホルモンと霊長類」 浅岡一雄
15:00～17:00 「形態・骨学実習」 毛利俊雄
「心理学実習」 田中正之
「サルの野外行動観察実習」 室山泰之
「遺伝学実習」 平井啓久

8月20日(金)

9:30 ~ 10:00	受付
10:00 ~ 12:00	「チンパンジーの生態や社会を 研究する意味」 上原重男
13:00 ~ 15:00	「化石から見た霊長類の進化」 高井正成
15:00 ~ 17:00	「形態・骨学実習」 毛利俊雄 「心理学実習」 田中正之 「サルの野外行動観察実習」 室山泰之 「遺伝学実習」 平井啓久

(3) 市民公開

市民公開は研究所周辺の住民に研究所を紹介し、研究所の活動に理解を得るため実施している。研究所周辺地域を主対象にはしているが、本年度は市内各地、周辺市町村からの募集も行った。参加人員51名。

市民公開プログラム	1999年10月17日(日)
12:50~13:10	受付
13:10~13:15	総合案内 大澤秀行
13:15~13:20	挨拶 小嶋祥三所長
13:20~14:10	講演 景山 節「サルの種類と進化」の話
14:20~15:30	所内見学(サル放飼場等)

所内見学では、チンパンジー屋外運動場、ニホンザル放飼場、資料室の3カ所を巡って、広報委員が説明を行った。

(4) 和文パンフレット作成

1997年度以後作成していなかった研究所の和文パンフレットを作成した。新版はA4版16頁で、本研究所の組織・研究紹介のほか、世界各地で行っている研究所員による野外研究一覧などを掲載した。2000部作成。

(5) ホームページ

広報委員会と情報システム整備委員会により霊長類研究所のホームページが開設されている。アドレスは
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>
である。

(6) 研究所見学者

1999年		
5月11日(火)	長野県木曽高校	40名
6月3日(木)	京都大学工学部建築学科同総会	15名
6月7日(月)	犬山市立犬山中学校	4名
10月21日(木)	大口北部中学校	12名
11月29日(月)	研究所等庶務系掛長会議	15名
2000年		
2月29日(火)	京都大学食糧科学研究所	4名
3月16日(木)	広島大学原爆放射能医学研究所	2名

広報委員会

大澤秀行・松村秀一・田中正之・本郷一美・大蔵聡；石田茂光(庶務掛長)・鈴木賀壽子(広報研究支援推進員)

(文責：大澤秀行)